



# さきばる

さいごまで さいあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

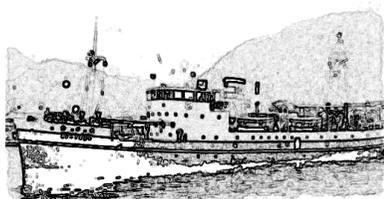
## 海の女王 三つの伝説

校長 長崎 克則

終業式のスピーチ原稿より・・・

今日は「海の女王 三つの伝説」という話をしようと思っています。終業式にふさわしい内容になるように頑張ります・・・

みなさんは「金十丸 (かなとまる)」という船を知っていますか。1942年(昭和17年)に作られた船で、龍郷町出身の金井正夫さんの【金】の字と十島村(当時はじつとうそんよばれていた)の【十】で【金十丸】と命名されました。当時の十島や奄美の人々の食料・物資だけでなく、夢や希望、生活そのものを運んでいました。その船体の美しさから「海の女王」と呼ばれて、親しまれていたということです。



「海の女王・金十丸」

太平洋戦争が始まり、鹿児島から奄美大島・沖縄(琉球弧の島々の海)は大変危険な海域となっていきます。1944年(昭和19年)8月21日トカラ列島沖を航海していた金十丸は、米軍の潜水艦ボーフィンに追われますが、船長の勇敢な作戦と金十丸のスピードで逃げ切ることになりました。皆さんも知っている対馬丸の悲劇はこの翌日、8月22日に起こっています。

戦時中は、事実が伝えられなかったのですが、この海域で40隻以上の民間船舶が米軍によって撃沈されてます。

金十丸は、当時の前村与一船長の知恵と勇氣、船体の素晴らしさで、無傷で終戦を迎えます  
**海の女王、一つ目の伝説は【太平洋戦争を生きぬいた】ということです。**

終戦後、奄美群島は米軍統治下となり、金十丸も米軍に接収されてしまいます。その上、金十丸の機関の調子が悪くなり、修理のため大阪の造船所にドック入りする計画が出てきました。

1948年(昭和二十三年)6月28日名瀬港を出航。この航海には見習いの船員に変装した、中学校教師の深佐源三さん(35歳)と小学校教師の森田忠光さん(26歳)が密かに参加していました。目的は、本土に「密航」し、すでに新しい教育制度がスタートしている本土の教科書や資料などの「新しい教育」を持ち帰ることだったのです。これは、新しい民主的な教育が許されなかった米軍統治下での奄美群島の教師たちの必死の行動だったのです。

密航状態で渡航した2人を各地で助けたのは、本土で暮らしていた奄美群島の出身者たちだったそうです。二人が「教科書」とともに名瀬港に帰り着いたのは、百二日後の10月7日でした。

**これが海の女王、二つ目の伝説【金十丸教科書密航事件】です。**

新しい教育の理念を指針に、教師たちが始めた運動は、やがて奄美群島全島を包み込む本土復帰運動の大きなうねりとなっていきます。

上記の事件の後、金十丸は米軍に接収された状態で、管理は奄美商船という会社に任されていました。しかし、名瀬港での給水作業中に天候の急変に遭い、船体が突堤に打ち付けられてしまったのです。船体を損傷してしまった金十丸は、他の船舶の邪魔になるという理由で名瀬港から龍郷湾へ移動させられてしまいました。

そして、1952年(昭和27年)7月1日に次の事件が起きます。

龍郷湾に移動した金十丸。見張りについてはいたのですが、十一名の若者によって盗み出されてしまいます。なんと、計画の立案者(首謀者)は三島村村長の安永幸内さんでした。奄美より早く日本に返還された三島村の安永さんらは島民の生活を守るために、以前から、米軍に金十丸の返還を訴え続けていたのです。

脱出に必要な燃料はあらかじめ、少しずつ計画的に貯めていたものを使用しました。結果、金十丸は米軍と海上保安庁両者から逃れ、約24時間かけて、鹿児島まで逃げ切ったのです。しかも、マスコミや世論が大きく取り扱ったおかげで、逮捕者は出ませんでした。怪我人も逮捕者も出ない、前代未聞のシージャック事件となったのです。

**これが海の女王、三つ目の伝説【金十丸奪取(だっしゅ)事件】です。**

明日、12月25日は66回目の奄美群島本土復帰記念の日です。

日本復帰記念の日のつどいに参加する友達もいますね。みなさんもこの機会に御家族からお話を聞いたり、図書館や博物館で学んでみる最高のチャンスだと思いますよ。

参考文献・資料 奄美群島日本復帰66周年記念誌 日本復帰記念の日のつどい実行委員会編

軍政下奄美の密航・密貿易 南方新社 佐竹京子 金十丸 奄美の英雄伝説 ～戦火をくぐった疎開船の復讐と運命～ 南方新社 前藤公造

うらみの北緯三十度線 アメリカ占領下の岩礁/奄美 ねほり 深佐源三 南の島の先生、命がかりの密航記 ～教方方を求めて3000キロ～ NHK

## 1月24日(金)

### 「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。



## 特認校生を募集しています!

崎原小中学校は奄美市の小規模校入学特別認可校の指定を受けています。

この制度は、豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かし、心身の健康増進・体力づくりとともに、自然に触れあう中で学ぶ楽しさと、豊かな人間性を育ませたいと希望する保護者や幼児・児童・生徒のみなさんに、一定の条件の下で、特別に入学(転学)を認める制度です。

現在、令和2年度の希望者を対象にした面談等が進んでいますが、特に以下の学年において追加申込みをお待ちしています!!

**小学生⇒新1年生・新2年生**  
**中学生⇒新1年生**

## 児童生徒の受賞 ～ 光り輝け 崎原っ子 ～

受賞は、まだまだ続いています。児童・生徒の活躍が光ります。

|                     |   |
|---------------------|---|
| 【県児童生徒作文コンクール】      | <b>入選</b> 村田優佳(中2)  |
| 【南さつま「いろは」まごころ短歌大会】 | <b>佳作</b> 辺木颯太(中2)  |
| 【奄美ワールド川柳】          | <b>入選</b> 瀧田徠斗(小2) 愛川琥珀(中1)<br>村田優佳(中2) 平 駿平(中3)<br><b>学校賞</b> 崎原小中学校 |
| 【市花づくり・花いっぱい運動】     | <b>最優秀賞</b> 崎原小中学校  |

## 有意義な冬休みを!

いよいよ明日から冬休みが始まります。中学校3年生にとっては、高校入試を前にした最後の長期休業となります。自分の進路希望を実現するために、学習を中心に据えた生活を行い、健康に留意しながら、悔いのない冬休みを過ごしてほしいと思います。また、他の児童生徒につきましても、冬休みは2学期までの学習を復習する絶好の機会です。年明けには、小学校5年生、中学校1・2年生は「鹿児島定着度調査」も計画されています。各学級・各教科から配布された冬休み課題や過去の問題にもしっかりと取り組み、準備を行いましょう。

冬休みは、地域行事や子ども会行事等の開催も多いのではないと思いますが、住んでいる地域の住民として、参加すべき行事には、ぜひ積極的な参加をお願いしたいと思います。

また、冬休みはお年玉等、子どもたちがお金を手にすることの多い時期となります。計画的なお金の使い方はもちろん、友だち同士の金銭トラブル等がないように、お金の使い方・管理等につきましても、各御家庭での御指導をよろしくお願いいたします。

よいお年をお迎え下さい。



## 1月の行事予定

- 1/ 8 (水) 3学期始業式  
いじめ問題を考える週間
- 1/ 11 (土) ふるさと奉仕作業
- 1/ 15 (水) 鹿児島学習定着度調査  
実力テスト(中3)
- 1/ 16 (木) 鹿児島学習定着度調査  
実力テスト(中3)
- 1/ 17 (金) 漢字検定(16:30～)
- 1/ 18 (土) 青少年育成の日  
市P連理事会・研修会・ゆらおう会
- 1/ 19 (日) 市民清掃日
- 1/ 29 (水) CRT(小)～30日
- 1/ 31 (金) 授業参観・学級PTA(中3)